

令和元年度の 取組

良いものを作る!

- 高品質生産や鳥獣害対策など産地の課題解消につなげるため、2,540万円の助成金を支出しました。
- 営農指導員が定期的に園地などへ出向く回数を増やし、現場での指導・相談活動の充実に取り組みました。
- マーケットインを重視した改植を推進するため、苗木確保の具体策を整備しました。



産地を守る!

- 担い手育成のためトレーニングファームを設置し、また労働力確保対策として無料職業紹介事業の開始申請を行いました。
- 地域農業活性化のため、農産物直売所「ありだっこ」にキャッシュレス決済機能を導入するとともに駐車場を拡張しました。
- AQマル南選果場、ありだ共選など共同利用施設の整備に取り組みました。
- 農業資材の情報を発信する場として「最新農業資材情報見本市」を開催しました。



高く売る!

- 有利販売への取組として同一品目部会の統合を検討し提案しました。
- 山椒商品のPRと売先確保に向けた商談会に参加し、新規取引先を獲得しました。
- 有田みかんのブランディングの一環として、積極的な輸出事業に取り組んだ結果、数量、金額ともに前年の2倍を超える商談が成立しました。

コストを下げる!

- 和歌山県内統一肥料として、県下での集約メリットのPRと普及拡大に取り組みました。
(エムコート522 20kg 集約メリット約418円/袋)
- 配合肥料44品目のコスト低減策として、1月～3月予約分に対し1袋20円の価格対策を実施しました。
- 農薬奨励金明細表を作成し、価格の見える化に取り組みました。
- 大型規格容器・ジェネリック薬剤などの低価格商品の普及に取り組みました。
- 農薬・肥料の価格対策として、要領奨励・市況対策など2億800万円のコスト低減を実施しました。
- 農業機械(樹木粉碎機・電動剪定ハサミ等)のレンタル事業を開始しました。

資金で応援!

- 農業資金に利子助成を実施し、低金利で利用いただけるよう取り組みました。
- ローンセンターの営業を開始し、通常時間外、土日の相談に取り組みました。
- 地域農業応援定期貯金に取り組み、消費拡大に繋がる活動を実施しました。



地域のために!

- 地域の見守りも兼ね、買い物不便者への対応として、移動購買車を巡回しました。
- JAの公用車にドライブレコーダーを設置し、地域の見守り体制の充実をはかりました。
- 大規模自然災害対策積立金を目標額2億円まで積み立てました。
- 地域の交流の場としてふれあいまつり・支所まつりを開催しました。
- 直売所クーポン券付定期貯金を発行し、出荷農家と消費者を結ぶ活動に取り組みました。